



2022年7月25日

株式会社立花商店 生田 渉

## (新) 週刊カカオニュース第75号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。今週のカカオニュースを配信させていただきます。

### 1. アジア地域での第2四半期のカカオ豆磨砕数量は前年対比3.6%増加(7/22)

アジア・ココア協会(=CAA)が金曜日に発表した数字によると、2022年第2四半期のアジア域内のカカオ豆の磨砕数量は前年同期比3.6%増となった。

4-6月期のカカオ豆磨砕数量は22万8895トンであり、2021年同期の22万865トンに比べて増加したことが数字で示された。四半期ベースでは、第2四半期のカカオすり潰し量は第1四半期から7.3%上昇した。

最新の2022年第2四半期のCAAの粉砕量は、これまでの第2四半期の磨砕数量の新記録となり、CAAの歴史の中でも2番目に高い粉砕量となったと発表。「この強い数値は、サプライチェーンやマクロ経済要因による課題にもかかわらず、この地域の高品質なカカオとチョコレート製品に対する需要の回復力を証明するものだ」と同協会は付け加えた。

カカオ豆の磨砕数量は、チョコレートの製造に使用されるカカオマスや、ココアバター、ココアパウダーに加工された数量を示す為、業界ではカカオ関連製品やチョコレート業界全体の需要を測る指標として用いられている。

\*アジア・ココア協会は、アジアにおけるカカオ豆の取引、加工、倉庫、関連物流に携わる主要企業を会員とする協会である。

### 2. 北米市場の第2四半期のカカオ豆磨砕数量は前年同期比6.3%減(7/21)

全米製菓協会(=NCA)が発表した第2四半期の北米地域のカカオ豆磨砕数量に関する発表は次の通り。

➤ カカオ豆磨砕数量は前年同期比7,781トン減の11万5899トン。

\*報告企業には、バリー・カレボー、カーギル、ハーシー、ネスレなどが含まれます。また数量単位はトン。

四半期	2Q	1Q	4Q	3Q	2Q
年度	2022	2022	2021	2021	2021
磨砕数量	115,899	114,694	116,614	123,399	123,680
増減量(前年比)	-7,781	-3,262	-1,429	5,135	12,904
増減%(前年比)	-6.29%	-2.77%	-1.21%	4.34%	11.65%
対象工場数	15	16	16	16	16

### 3. アフリカ・カカオ UPDATE : コートジボワールの雨は作業を妨げ、心配が高まる (7/19)

-コートジボワールでは豪雨が農園へのアクセスを妨げている。

-西アフリカの生産者は、農薬の不足を懸念している。

西アフリカでは農薬の不足が懸念される中、カカオ生産者は再び豪雨により農園への立ち入りが困難になっている。今年、豪雨は概して作物を助けたが、道路が冠水したため生産者は農園にたどり着けず、収穫したカカオをバイヤーに届けることができなかった。また、一部の地域では湿潤状態が豆の品質を低下させている。

コートジボワール南西部のタブーで農業を営むイシドール・ゾンゴ氏は、先週の雨でカカオの木の点検や必要な処置が出来なかった為、栽培が難しかったと述べた。

また、同国の最西部の都市であるゾヌーの生産者は、「コートジボワール西部でも同様のことが起こっており、生産者は農薬の不足を懸念しています」と述べている。ミッドクロップの収穫が終わり、生産者はメインクロップのシーズンに向けて準備を始めている。

コートジボワール西部のペレジで農業を営むウスマネ・コネ氏は「今のところ豊作かどうかは分からないが、来月にははっきりするだろう」と話す。木は緑の葉と花をつけているが、さやは十分でないという。

コートジボワールとの国境にあるヤカシ・ニュータウンの生産者であるガーナの生産者は第2位の生産者は、先週は雨が降り、作物に良い影響を与えたが、生産者は農薬の配達遅延に農作業を妨げられている、と語った。カカオ豆の買取価格が今後上昇しなければ、このような状況や投入コスト上昇のため、カカオの栽培を断念する人も出てくるかもしれない、と彼は述べています。

カメルーンのヤウンデの北にあるヌジュの生産者によると、現在は、ようやく雨がおさまったため、カメルーンの主要な中心生産地で生産者が作業を再開することができたと報告した。これからの乾季で輸送ルートが改善されることが期待されています。

ナイジェリアでは、南東部の生産者が、シーズン初めの乾燥でミッドクロップの収穫量が落ち、今はメインクロップに注目が集まっているが、最近の大雨でブラックポッドが発生する危険性があると話しています。南西部の Akure 近郊では、雨季が樹木を助け、メインクロップの豊作が期待されている。

### 4. マレーシア : カカオ豆とカカオ製品の輸出額、増加の見通し (7/24)

カカオ豆とカカオ加工製品のマレーシアからの輸出額は、海外からの強い需要の傾向を受けて、昨年は増加を記録した後、今年も引き続き増加する見込みであると発表された。

マレーシアのプランテーション産業・商品担当副大臣 Datuk Seri Dr Wee Jeck Seng 氏（以下、ウィー）は、カカオ豆とカカオ製品の輸出額は2020年の62億7000万RM(≒1881億円)に対し、昨年は68億7000万RM(≒2061億円)と9.6%増加したと述べた。

「今年、1月から5月だけで32億RMもの輸出額を記録し、このセクターの可能性を証明しています」と、彼は今日ここでTanjung Piai チョコレート起業家センターを開催した後、記者団に語りました。

カカオを原料とする川下製品は、ココアパウダー、カカオペースト、チョコレート製品で、中東やASEAN 諸国から大きな需要が寄せられています。

ウィー氏は、より多くの起業家と価値の高いカカオを主原料とするマレーシア産の地元製品を生み出すために、第12次マレーシア計画におけるホームメイドチョコレートのための起業家育成プロジェクトとカカオ振興プログラムを通じて、政府によって様々な支援が提供されていると述べました。

このプログラムでは、これまでに全国で 242 人の手作りで作る小規模なチョコレート製造者の起業家を育成することに成功しているという。そのため、新しく開設された起業家センターは、特に B40 層や若者の地元収入を生み出すのに役立つと期待されると述べた。

\*B40 とはマレーシア国内で所得が下位 40%に該当する層を指す。上位 20%を T20、中間の 40%を M40 という。

「この起業家センターは、マレーシア・カカオ庁（LKM）およびマレーシア農園商品研究所（IMPAC）と共同で開発された最初のもので。

「興味のある人は誰でも研修を受けることができます。私たちは、正しいビジネスモデルを用いて、価値ある起業家を育てたいと考えています。そうすれば、彼らがトレーニングを経て次のレベルに進んだとき、製品を作り、良いリターンを得られるでしょう」と、彼は期待を述べる。

このコース参加者には、手作りチョコレートの製造技術や起業の基本、マーケティングや販売に関する支援など、チョコレート起業家になるためのキックスタート・サポート・サービスを提供している。

「このセンターは、初期段階では 300 人ほどの起業家候補を指導する予定で、地域で手作りチョコレート製造業に興味を持つ B40 の人々に、収入を得る機会を創出することが目標です」と説明した。

## 5. ナイジェリア・クロスリバー州、21-22 年産ミッドクroppで相当な不作を確認(7/23)

ナイジェリア第 2 のカカオ生産州であるクロスリバー州は、2021-22 年シーズンのミッドクroppカカオが「完全な失敗」で終了しそうであると業界関係者が金曜日に発表した。

ナイジェリア・ココア協会の前会長で、クロスリバー州最大のカカオ生産地であるイコムのカカオ商であるサヤナ・リマン氏は、「州では 3 月から降雨があったにもかかわらず、期待した数量の 85%以上のミッドクroppのカカオ豆を得ることができなかった」と述べた。

クロスリバーは南東部最大のカカオ生産地で、南西部のオンド州に次いで国内第 2 位の生産量を誇る。ナイジェリア・ココア協会の職員の話によると、同州は 1 シーズンに 55,000 トンのカカオを生産しており、2 年前に始まったカカオ植林計画のもと、2028 年までに 10 万トンまで生産量を増やすことを目指している地域である。一方、販売されているカカオの豆の数は 300 粒で 230g と非常に小粒であると、イコムのトレーダーであるサンデー・タイウォーは述べ、これは今までにないことであると付け加えた。

ミッドクroppは、ナイジェリアでは 1 シーズンに 2 回収穫されるカカオのうち、2 回目の収穫のことで、ナイ通常、国全体の年間生産量 25 万から 28 万トンの内の 30%を占めています。

## 6. ナイジェリアのオヨ州とオグン州で 21-22 年シーズンのミッドクroppが終了(7/23)

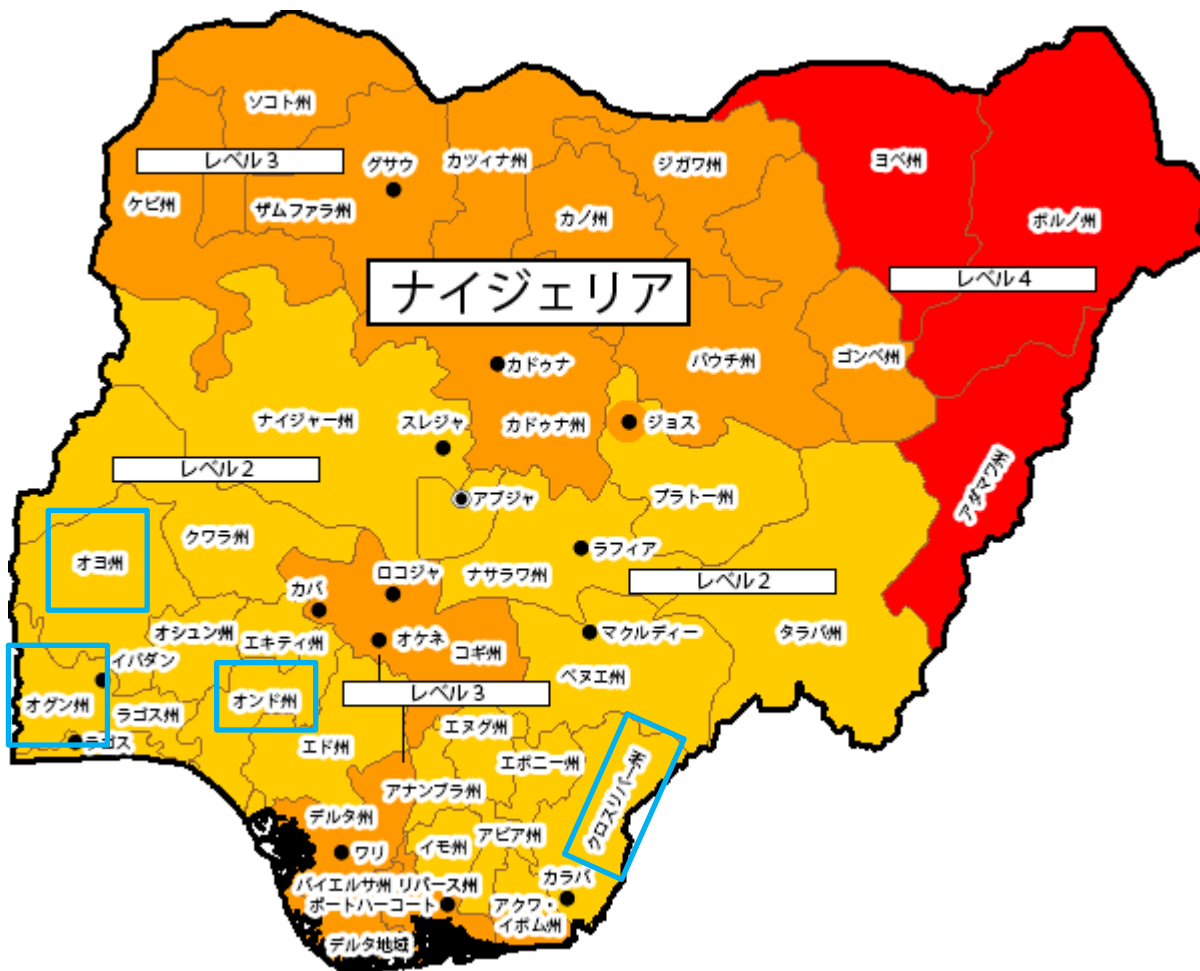
ナイジェリアのカカオの主要生産州であるオグン州とオヨ州で 2021-22 年シーズンのミッドクroppカカオの収穫が終了したと、関係者とトレーダーが金曜日に発表しました。

ナイジェリア・ココア協会のノジーム・オロミデ氏は「農場でミッドクroppが終わり、生産者は来季のメインクroppの収穫開始を期待している」と述べた。

彼は、年明けの天候不良により南西地域で乾燥が続いたため、ミッドクroppの収穫量が少なかったと述べた。オヨ州の州都イバダで農業を営むビンボ・オグントウンデ氏は、12 月から 3 月初旬まで降雨が止まり、その後、強いハルマタン風によって干ばつが悪化したと述べた。4 月に降雨が再開され、ミッドクroppが期待されたものの、5 月に再び降雨が止まったとオロミデ氏は述べた。

同氏によるとオグン州では 2022-23 年のメインクroppのカカオの最初の収穫が来月に始まる見込みです。オヨ州では、メインクroppの収穫は来月か 9 月上旬に始まる見込みだと、イバダンの協同組合生産物販売組合のマネージャー、アキン・オモタヨ氏は言う。

オロミデ氏と取引業者は、現在各生産地で収穫数量の照合作業が行われているため、ミッドクroppの生産規模を決定するには「時期尚早」と述べた。



## 7. カメルーンの港でカカオ豆の価格がわずかに下落中(7/20)

カメルーン、ヤウンデー・カメルーン国立ココア・コーヒー委員会（＝NCBB）が火曜日に発表した数字によると、カメルーンの主要港ドゥアラでカカオ豆に支払われる価格は先週ずっと横ばいだった後、わずかに下落に転じた。カカオ豆は1kgあたり1,288CFAフラン（2.01ドル）で販売され、前週の木曜日の1,295XAFと比べ、ほぼ1%下がったことがNCCBのデータで示された。

一方、火曜日に取材に応じたカカオ豆バイヤーや生産者によると、生産者出荷価格は横ばいであったとのこと。

カカオは南西部地域で先週木曜日と同じ1キログラム1,150CFAフラン、主要なカカオ生産地である中央部で1,050CFAフランであったと生産者達は述べた。

## 8. タンザニア、6月26日までの1週間で343.77トンのカカオ豆を販売(7/19)

タンザニアは、6月26日までの1週間に343.77トンの輸出用カカオ豆を販売したと、同国農業省が火曜日に発表した。カカオ豆の輸出は6億6370万タンザニアシリング（285,743ドル）を稼いだと、同省は同国の協同組合開発委員会の数字を引用して発表した。また、前週のカカオ豆の輸出量は公表されていない。

貧困に対するビジネスソリューションを推進する国際的な非営利団体テクノサーブの報告書によると、タンザニアでは40年以上前にカカオ生産が始まったが、まだ換金作物として大きく発展していない。

タンザニア政府は、国際的な需要が高まる中、東アフリカの国でのカカオ生産を拡大することを目指していると述べており、現在のタンザニアのカカオの年間生産量は約11,000トンであると報告されている。

## 9. コートジボワール新物、7/11-7/17の週間着荷数量は13,680トン(7/19)

政府のデータに詳しい人物によると、コートジボワールの生産者は先週、13,680トンのカカオを港に出荷した。前年同時期の数量は12,896トンであった。10月1日のシーズン開始からの総着荷数量は、約235万トンと

なっており、過去最高であった昨年同時期の推定値 234 万トンとほぼ同じ数字。下記は、同国内のカカオ豆の買受先の一覧である。最大の買い手は、バリーカレボアのグループ企業である Saco 社や、Olam International の関連企業である Outspan, や Cargill などの企業である。

\*以下は、10月1日から7月17日までの上位各社の購入量（単位：トン）の表である。

会社名	購入数量(トン)
カーギルグループ	314,073
Saco 社(バリーカレボアグループ)	302,423
アウトスパン(Olam グループ)	296,408
Touton 社	147,256
S3C 社	144,489
その他企業	1,146,364
合計	2,351,013

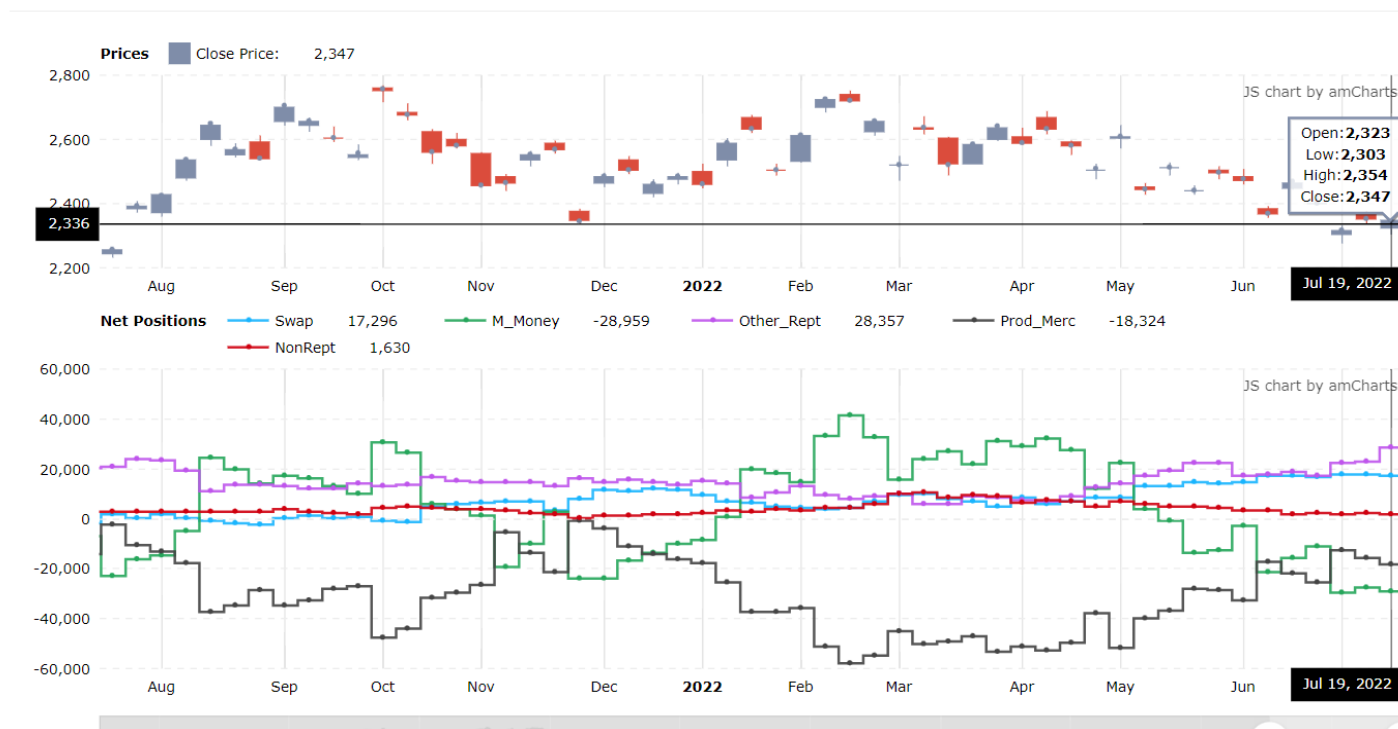
## 10. ファンド勢のNY先物は純売り越しポジションが再び増加(7/23)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純売り越しポジションを 1,280 ロット増加 (先週は 2,530 ロット減少) させ、28,159 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、7月19日) の取引が含まれている。

- 総買い数量は 1,678 ロット減少 (先週は 2,971 ロット減少) し、60,359 となった。
- 総買い数量は、過去 3 か月で最も少ない数量
- 総売り数量は 398 ロット減少 (先週は 5,501 ロット減少) し、88,518 ロット となった。
- 総売り数量は、過去 3 週で一番少ない数字

## 参考分析資料；過去1年のNY市場の実需家VS投機筋のポジションと相場価格

### Prices & Net Positions



黒線・・・カカオ磨砕業者やチョコレート製造会社など実需家

緑・・・ヘッジファンドなどの資金運用者

水色・・・投資銀行などスワップディーラー

## 11. ファンド勢のLDN先物は純売り越しポジションが増加。過去7か月で一番多い(7/23)

ロンドンのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、先週の純売り越しポジションを5,474ロット増やし11,445ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、7月19日)の取引が含まれている。

- 純売りポジションは過去7か月で一番多い数字 (≒最も売られ過ぎ) の状態。
- 総買い数量は今週1,949ロット減少 (先週は139ロット増加) し、16,979ロットとなった。
- 総買い数量は過去11か月で一番少ない数字
- 総売り数量は今週3,525増加 (先週は2,637ロット減少) し、28,424ロットとなった。
- 総売り数量は過去6か月で最も多い数字。

## 参考) ロンドン市場の主要なプレイヤーのポジション状況

### Commitments of Traders Futures and Options

#### ICE Futures Europe

19/07/2022

MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money		
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
19/07/2022	293924	177339	171878	32797	32864	19173	16979	28424	10708
<b>Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader</b>									
19/07/2022	100%	60.3%	58.5%	11.2%	11.2%	6.5%	5.8%	9.7%	3.6%
<b>Number of Traders in Each Category</b>									
19/07/2022	143	51	42	12	10	11	13	30	17

## 12. 新商品情報：カカオパルプ」を楽しむ“かき氷” 7/22(金)新発売

株式会社横浜大世界 (本社：横浜市/代表) は、自社で運営している横浜中華街最大級の総合エンターテインメント施設内にある「横浜チョコレートファクトリー&ミュージアム」にて、7/22(金)よりカカオの果肉 (カカオパルプ) を使用したフルーティーなソースをかけて楽しむかき氷の発売を開始した。



カカオパルプとパッションフルーツのかき氷 ¥880 (税込)

近年注目されているカカオの果肉はライチのような南国フルーツ特有の爽やかさと芳醇な甘酸っぱい風味が特徴である。かき氷のトップに散りばめたチョコレートのパリパリ食感が、パッションフルーツと“あとかけカカオパルプソース”のフルーティーな味わいを一層引き立てる。

\*説明および写真は下記プレスリリースより

<https://www.daska.jp/news/2462>

### 13. 弊社イベント：ベネズエラサプライヤー「chuao trading」来日セミナー 8/26(金)開催！

この度、株式会社立花商店は、ベネズエラサプライヤー「chuao trading」来日セミナーを開催致します。



日時：2022年8月26日（金）15:00～16:30

場所：LIFORK MINAMI AOYAMA

東京都港区南青山1丁目12-3

（対面だけでなく、ZOOMを使ったオンラインイベントも同時開催）

参加方法：以下内容を添えて本メールの返信にてご連絡をお願い致します。

①会社名（ブランド名）

②来場 or ZOOM

③参加人数

④参加者御名前

⑤事前の質問、興味関心事項、要望など（任意）

### イベント内容：

現在弊社では、ベネズエラの中でも「チュアオ」と呼ばれる地域のカカオ豆を取り扱っております。450年以上にわたり伝統を守りながら、希少性の高いカカオ品種を生産し続けてきた、チョコレート業界では有名な地域です。（昨年のイベントの様子はこちらから：<https://youtu.be/CHKFokRBkus>）しかし実は、ベネズエラにはチュアオ以外にもバラエティーに富んだフレーバーを持つカカオ豆を生産している地域がいくつかあります。今回はその中でも、立花商店メンバーがサンプルを取り寄せ、厳選した新しい地域の豆をいくつかご紹介いたします。皆様からご意見を頂戴した上で、今後輸入するかどうかとも検討していきたいと考えています。

※参加費無料

※来場参加人数 限定30名

普段はベネズエラにいるサプライヤーが来日する貴重な機会となっております。  
皆様からのご応募、お待ち申し上げます。

## 14. 外部イベントのご案内：CAFERES JAPAN 2022 7/27(水)～29(金)開催

日時：2022年7月27日（水）～7月29日（金）

10:00～17:00

場所：東京ビックサイト 東展示棟 4～6ホール

参加方法：下記サイトよりお申込みをお願いします。

<https://cafewellness.jp/visitor/index.php>

弊社は出展していませんが、以前より弊社から紹介させていただいております、ウィノワーやチョコレートドリンクマシンなどを実際に見ていただくことのできる貴重な機会となっております。是非ご参加ください。

\*イベント詳細はこちらより

<https://caferes.jp/exhibitor/>

\*チョコレートドリンクマシン「インフィニックス」の出展についてはこちらより

<https://mitsubachiproducts.com/news/2269/>

\*ウィノワー「皮むき丸」の出展についてはこちらより

[https://next-2u.co.jp/news/caferes-japan-](https://next-2u.co.jp/news/caferes-japan-2022%e3%81%b8%e5%87%ba%e5%b1%95%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99/)

[2022%e3%81%b8%e5%87%ba%e5%b1%95%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99/](https://next-2u.co.jp/news/caferes-japan-2022%e3%81%b8%e5%87%ba%e5%b1%95%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%99/)

\*ウィノワー「カカオマシーン CCM-1」の出展ブース情報は下記となります

小間番号：東 4E4-6-15

カカオニュースの配信の削除、追加のご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 [w-ikuta@tachibana-grp.co.jp](mailto:w-ikuta@tachibana-grp.co.jp)

\*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。